



## 平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三光マーケティングフーズ  
コード番号 2762 URL <http://www.sankofoods.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平林 実

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 山田 博昭

TEL 03-5985-5711

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日

平成24年3月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年6月期第2四半期の業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	12,784	0.7	1,201	△5.4	1,246	5.5	569	65.7
23年6月期第2四半期	12,690	△2.2	1,269	1.4	1,180	0.5	343	△43.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	3,960.02	—
23年6月期第2四半期	2,390.33	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	20,388	14,983	73.5
23年6月期	19,365	14,529	75.0

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 14,983百万円 23年6月期 14,529百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	800.00	—	800.00	1,600.00
24年6月期	—	800.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	800.00	1,600.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,600	9.4	2,500	3.6	2,450	10.2	1,100	81.4	7,645.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期2Q	143,870 株	23年6月期	143,870 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年6月期2Q	— 株	23年6月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	143,870 株	23年6月期2Q	143,870 株
----------	-----------	----------	-----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事業	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成23年7月1日から平成23年12月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による急激な落ち込みから着実に回復の兆しを見せる一方で、欧州の金融不安や円高の進行など、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、景気の先行き不透明感、東日本大震災の影響により個人消費の低下が懸念されていたものの、ファーストフード業界は比較的堅調に推移しております。しかしながら、居酒屋業界は、依然として強いお客様の節約志向の影響により、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は『日常食業態の拡大』を政策の柱として掲げ、「新規業態開発」とその「スピード出店」に注力してまいりました。

新規業態開発においては、多くのお客様にご支持をいただいている「東京チカラめし」について、早期のブランド確立に向けたスピード出店を行う一方で、「おろし牛丼」「生姜醬牛丼」「わさびマヨ牛丼」「旨塩ネギ牛丼」と新メニューの開発・販売を開始する等、業態の拡大と深耕に努めてまいりました。さらに、出店増に伴う組織体制・管理体制の見直しを行い、品質チェックとサービスレベルの向上に向けた取り組みを強化してまいりました。

また、スピード出店については、東京チカラめしを33店舗、金の蔵Jr.を3店舗、イタリアのパールをコンセプトにしたカヴェノアーナを1店舗の合計37店舗と積極果敢な出店を行う一方で、居酒屋業態3店舗を撤退する等、政策具現化に向けた取組みを行ってまいりました。

一方、当社の基幹業態である居酒屋業態においては、グランドメニューの変更や、新たに大人数のお客様向けのキャンペーン並びにメーカーとの取り組み強化による共同販売キャンペーンを実施する等、市場環境・競争環境ともに厳しい状況ではあるものの、攻めの姿勢で営業活動に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高127億84百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益12億1百万円(前年同期比5.4%減)、経常利益12億46百万円(前年同期比5.5%増)となり、四半期純利益は5億69百万円(前年同期比65.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における流動資産は、42億66百万円となり、前事業年度末に比べ10億29百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は161億22百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主に、償却による有形固定資産の減少によるものであります。この結果、総資産は203億88百万円となり、前事業年度末に比べ10億22百万円増加いたしました。

当第2四半期会計期間末における流動負債は、36億79百万円となり、前事業年度末に比べ6億60百万円増加いたしました。これは主に、買掛金及び設備関係未払金の増加によるものであります。固定負債は17億26百万円となり、前事業年度末に比べ91百万円減少いたしました。これは主に、リース債務の減少によるものであります。この結果、負債の部は、54億5百万円となり、前事業年度末に比べ5億69百万円増加いたしました。

当第2四半期会計期間末における純資産の部は、利益剰余金の増加等により149億83百万円となり、前事業年度末に比べ4億53百万円増加いたしました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)の残高は、前事業年度末に比べ10億64百万円増加し、32億14百万円となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、21億73百万円(前年同期比46.0%増)となりました。これは、主に税引前四半期純利益を11億43百万円、非現金支出項目である減価償却費を7億87百万円、法人税等の支払いに伴う支出1億77百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7億39百万円(同31.5%減)となりました。これは、主に新規店舗の開設等に伴う有形固定資産の取得による支出5億40百万円、差入保証金の差入による支出4億12百万円、差入保証金の回収による収入2億88百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3億69百万円(同1.3%減)となりました。これは、主に配当金の支払額1億14百万円及びリース債務の返済による支出2億55百万円があったことによるものであります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期通期の業績予想につきましては、平成23年8月12日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,103	3,214
受取手形及び売掛金	246	240
原材料	43	45
前払費用	408	414
繰延税金資産	138	138
その他	296	214
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,237	4,266
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,199	5,382
減価償却累計額	△1,524	△1,708
建物(純額)	3,674	3,674
工具、器具及び備品	1,055	1,330
減価償却累計額	△560	△681
工具、器具及び備品(純額)	495	648
土地	942	942
リース資産	2,343	2,269
減価償却累計額	△728	△909
リース資産(純額)	1,615	1,360
建設仮勘定	33	24
有形固定資産合計	6,761	6,650
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,118	1,161
関係会社株式	346	326
差入保証金	6,556	6,627
長期預金	220	220
繰延税金資産	415	415
投資不動産(純額)	296	295
その他	298	293
貸倒引当金	△3	△2
投資その他の資産合計	9,248	9,338
固定資産合計	16,128	16,122
資産合計	19,365	20,388

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	987	1,213
リース債務	377	234
未払金	263	305
未払費用	628	720
未払法人税等	208	619
未払消費税等	73	71
前受収益	231	114
役員賞与引当金	72	36
設備関係未払金	94	294
その他	81	69
流動負債合計	3,018	3,679
固定負債		
リース債務	310	198
退職給付引当金	165	153
役員退職慰労引当金	507	524
長期預り保証金	279	276
資産除去債務	555	573
固定負債合計	1,817	1,726
負債合計	4,836	5,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,390	2,390
資本剰余金	2,438	2,438
利益剰余金	9,701	10,156
株主資本合計	14,531	14,985
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△2
評価・換算差額等合計	△1	△2
純資産合計	14,529	14,983
負債純資産合計	19,365	20,388

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	12,690	12,784
売上原価	3,094	3,273
売上総利益	9,595	9,510
販売費及び一般管理費	8,326	8,309
営業利益	1,269	1,201
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	11	11
投資有価証券評価益	—	45
貸倒引当金戻入額	—	1
雑収入	7	8
営業外収益合計	20	67
営業外費用		
支払利息	21	12
投資有価証券評価損	81	—
貸倒引当金繰入額	0	—
賃貸費用	5	5
雑損失	—	4
営業外費用合計	109	21
経常利益	1,180	1,246
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	35
受取和解金	—	38
特別利益合計	—	74
特別損失		
固定資産除却損	52	89
店舗閉鎖損失	3	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	235	—
賃貸借契約解約損	2	—
減損損失	204	79
その他	15	—
特別損失合計	514	177
税引前四半期純利益	666	1,143
法人税等	322	573
四半期純利益	343	569

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	666	1,143
減価償却費	681	787
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4	△11
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	17
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△1
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36	△36
受取利息及び受取配当金	△0	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	81	△45
固定資産売却損益(△は益)	12	—
固定資産除却損	52	89
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	—	△35
支払利息	21	12
減損損失	204	79
店舗閉鎖損失	3	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	235	—
売上債権の増減額(△は増加)	△21	9
たな卸資産の増減額(△は増加)	0	△1
仕入債務の増減額(△は減少)	276	225
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△71	84
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△3	40
その他の固定負債の増減額(△は減少)	17	0
その他	1	△4
小計	2,128	2,362
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△21	△12
法人税等の支払額	△618	△177
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,488	2,173
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△649	△540
有形固定資産の売却による収入	2	—
差入保証金の差入による支出	△448	△412
差入保証金の回収による収入	146	288
子会社株式の取得による支出	△43	—
その他	△87	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,079	△739

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△16	—
リース債務の返済による支出	△241	△255
配当金の支払額	△116	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△374	△369
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	34	1,064
現金及び現金同等物の期首残高	2,073	2,103
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	46
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,107	3,214

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社においては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。